

作物の生育・品質に及ぼす影響解析

キーワード 作物、代謝、品質、測定、分析

農学部 応用生命科学プログラム 教授 大竹 憲邦

社会的背景と研究の概要

高等植物の栄養吸収・代謝の研究により、高収量・高品質な作物生産を達成する。さらに、作物の様々な成分について定量化することで、品質に及ぼす代謝変動を解析する。

研究の成果とアピールポイント

・藤五郎梅の品質安定化に関する研究

→藤五郎梅は江南区の特産品である。梅の品質が一定しないが、原因としては圃場による土質の違いより、むしろ採取時期と果実の成熟によるところが大きいことを示した。

・水稻育苗ハウスにおけるシャインマスカット果実の時期別成分変化の解析

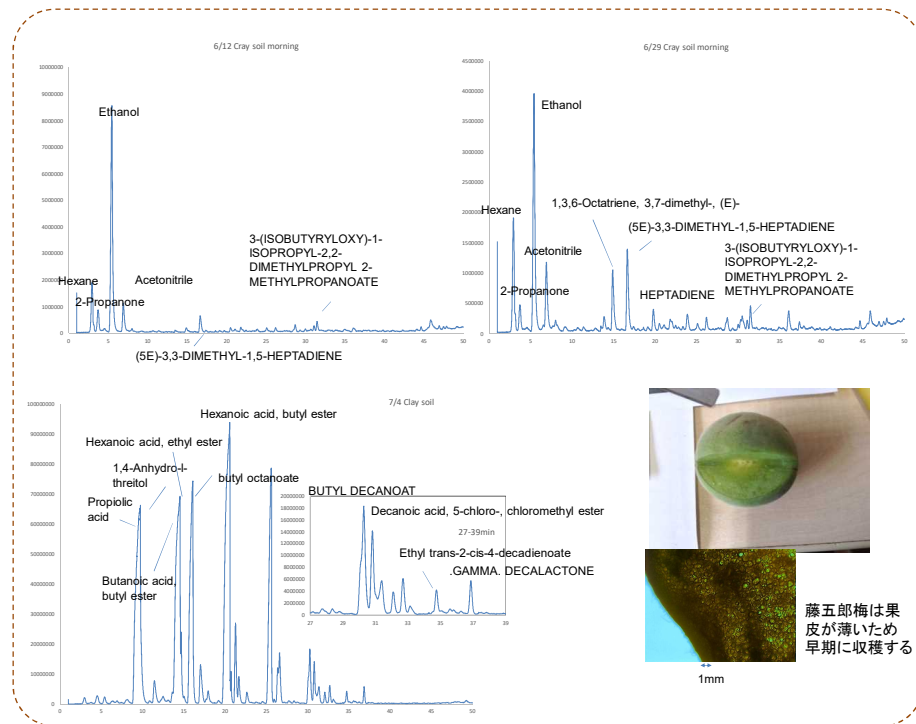
→水稻育苗ハウスにおける果実成分について無加温ハウスと比べると、糖および酸濃度がやや高い値を示すが、剪定に起因した樹勢の違いが影響する可能性を示した。

期待される効果

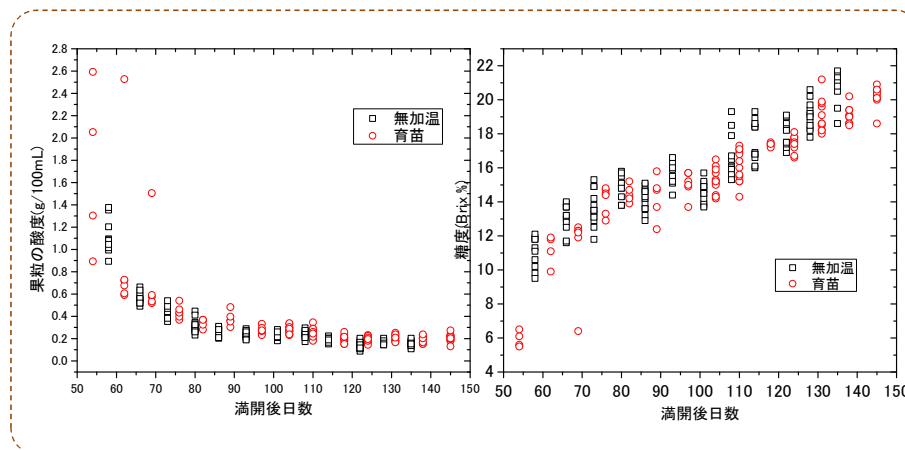
これまでの研究のノウハウを応用することで、肥料や植物調整剤の効果を科学的に検証することや、品質に与える影響について解析し、さらなる製品の向上の一助となることが期待できる。

つながりたい分野（産業界、自治体等）

- ・作物の生産に携わる分野。
- ・出身が新潟市です。新潟県であれば地の利を生かし、どのような地域でも対応が可能です



藤五郎梅の採取時期の違いによる香り成分の変化



仕立ての違いがブドウ(シャインマスカット)成分に及ぼす影響